平成３０年度　上田市立城下小学校　学校自己評価シート

○　評価基準　Ａ…達成できた　　Ｂ…おおむね達成できた　　Ｃ…やや達成できなかった　　Ｄ…達成できなかった

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）		
まなび きたえ ともにのびる子	・友の話を聞き、自分の考えを伝え合い　学びを深めようとする子 ・心と体の健康を考え、進んできたえようとする子 ・互いに支え合い、思いやりの心を　育もうとする子		
	今年度の重点目標 「指導の基盤になる集団の育成」		
	１	授業のユニバーサルデザイン化による誰もが安心して学べる環境づくり	
	２	お互いが認め合い高め合える、人間関係を大事にした集団づくり	
	３	ルールとマナーが定着した安心して自己表現できる集団づくり	

総合評価				
Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	成果と課題

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	教育課程・学習指導	心の通じ合いを重視した指導の推進	協力して活動する場や互いの良さを認め合える場を設定しながら行事，学級経営，学習指導を進めることができたか。
		授業のユニバーサルデザイン化	どの子にもわかる・できる授業づくり、確かな学力が身についていく授業づくりができたか。
		学び合いを大事にし、考えを交流する場の設定	国語の読解力、算数の思考力の向上を目指し追究の場でお互いの考えを伝え合い，話し合う学習活動を設定しているか。
		家庭学習の充実	家庭学習の手引きを活用し，日頃の学習指導と連携させて家庭学習の習慣化がはかれたか。
	生徒指導	明るい挨拶や返事の励行	進んで行う挨拶や気持ちよい返事を繰り返し指導し、教師が実践することで、子ども達に広がっていったか。
		生活規範意識の育成 （基本的な生活のルールの確立）	集団生活のきまりや約束に関する日常的な指導を進めたか。（遊びの約束事の徹底、安全な廊下歩行、授業を受けるルールの指導、無言清掃の取り組みに向けた指導等） 規則正しい生活習慣が身についてきたか。
		いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み （温かな人間関係）	自他の良さを認める場の設定や日常的な人権同和教育、自己有能感を高める教育活動を行うことができたか。 子ども達の様子に目を配り、友達関係や実態をつかみきめ細やかな保護者との連絡を心がけることができたか。
学校運営	地域との連携	学社融合 地域の方々との交流	地域で活躍している方々と連携して，地域のものや人と関わる活動や交流ができたか。
		保護者との連携	参観、行事、懇談、環境整備等、保護者の方々の理解や協力を得ながら教育活動を展開しているか。
		学校からの情報発信	学校，学年，学級だより，学校ホームページを通して情報をタイムリーに発信できたか。
	研修	授業づくり研修	国語・算数・道徳等の一人一公開授業を通して，自らの課題に向けて授業改善を進められたか。

Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	成果と課題